

第36回豊の国ねんりんピック 美術展 入選作品

審査日：令和7年5月12日

〔日本画の部〕

応募作品数 18点 （招待作品1点含む）

賞	題 名	作 者	市 町 村	総 評
最 優 秀 賞	朝霧	栗井 敏明	大分市	出品数は少なかったが、密度が高い作品が揃っていた。水墨画は、テーマが多岐にわたっており、技術的にも優れた作品が多かった。着彩作品は良く描き込まれていた。
	雪つばき	小野 佐千子	大分市	
優 秀 賞	春うらら	中村 義明	日出町	
	工場	鬼塚 勲	大分市	
審査員特別賞	棕櫚の実	小仲 静子	大分市	(審査員：大分県美術協会 高木悦子、藤野啓子)
	活き活き大輪	鈴木 信孝	大分市	

〔洋画の部〕

応募作品数 67点

賞	題 名	作 者	市 町 村	総 評
最 優 秀 賞	祝 八回目の歳女	井尾 和廣	大分市	日常生活の中で目にする風景、何気ない一場面、共に生活する家族、草花、生きもの等をテーマに写實的、想像的に作者の視点を大切にしながら表現している見応えのある作品が集まりました。平素の熱心な作品づくりが見えます。
	朝倉文夫墓守像	山田 牧男	佐伯市	
優 秀 賞	流	浜野 裕文	佐伯市	
	湯けむりの宿	阿部 哲司	別府市	
審査員特別賞	夢うつ	上田 美和子	由布市	(審査員：大分県美術協会 山崎哲一郎、池部俊之)
	秩父の山里	渡邊 文一	大分市	
	黄昏	後藤 正己	大分市	
	諸行無常	清水 勝之助	大分市	

〔彫刻の部〕

応募作品数 5点

賞	題 名	作 者	市 町 村	総 評
最 優 秀 賞	巣立ちを見守るふくろうの親子	財津 晴喜	日田市	昨年より2点少ない5点でしたがそれぞれ特徴的で個性に富んだ作品でした。全て木の素材を活かして特に彫刻刀を巧みに使った技術の高い作品が目につきました。丁寧で時間をかけてじっくり取り組んだ気持ちが伝わってきます。
	睨む猫	中島 勝行	日田市	
優 秀 賞	花の木箱	浜田 勇治	日田市	
審査員特別賞	RUGBY	松尾 男生	津久見市	(審査員：大分県美術協会 林淳一郎)

[工芸の部]

応募作品数 38点 (招待作品1点含む)

賞	題 名	作 者	市 町 村	総 評
最 優 秀 賞	癒しのひととき	丁田 キミ子	佐伯市	本年度は、昨年度より10作品多く応募いただきました。特に切り絵や織りの作品が増えて見応えのある工芸作品が寄せられています。各々丁寧に作り込んでいて、展覧会に向けた意気込みが感じられました。 (審査員:大分県美術協会 安達俊治、芳賀信幸)
	檻樓に咲いた花華	中山 一枝	大分市	
優 秀 賞	竹カゴ	栗野 勝好	日田市	
	焼締花器	阿部 治行	大分市	
審査員特別賞	擬態	木野村 義一	佐伯市	
	古里への帰り道	今熊 文子	宇佐市	
	春夏秋冬	眞崎 博美	大分市	
	耶馬溪ダム湖水上スキー	緑 アケ美	中津市	

[書の部]

応募作品数 22点

賞	題 名	作 者	市 町 村	総 評
最 優 秀 賞	夢天	三重野 典子	大分市	年齢を感じさせない作品が多く、漢字・かな・調和体・大字書とそれぞれのジャンルの中で楽しく書作する姿が見えるようでした。まだまだ出品者が増える事を願っています。 (審査員:大分県美術協会 中尾春照、後藤青雲)
	潮	清原 亜沙	大分市	
優 秀 賞	春寒	三浦 山恵	杵築市	
	羊土謬詩	岡 浩子	中津市	
審査員特別賞	下終南山過斛斯山人宿置酒	児玉 和恵	大分市	
	紀貫之の冬歌	清末 美栄子	豊後高田市	
	李白詩	土屋 和男	大分市	
	不以言拳人	宇都宮 悟	別府市	

[写真の部]

応募作品数 36点 (招待作品2点含む)

賞	題 名	作 者	市 町 村	総 評
最 優 秀 賞	群遊ぶ	深田 範雄	豊後大野市	シンプルにスタンダードに撮られてる作品が多い中、作者の個性を感じられる作品もあるが、もう少し冒険的作品もと感じられました。 (審査員:大分県美術協会 安東道明、戸崎恵子)
	頤の雫	池邊 政広	大分市	
優 秀 賞	魔除の響き	緒方 勝利	別府市	
	家路	安部 民子	宇佐市	
審査員特別賞	東京 25時	織部 眞理	大分市	
	氷瀑(暮雨の滝)	後藤 俊治	竹田市	
	新緑	松竹 澤子	日田市	
	猫	八坂 ミヨ子	別府市	

※敬称は、省略させていただきました。